

本格的な大雨シーズン到来

市からの情報発信

「ふじみ野市防災情報ポータル」により、気象情報、災害時における避難情報、避難所の開設情報などをリアルタイムで確認することができます。

また、防災行政無線、緊急速報メール、Fメール（災害等緊急情報配信サービス）、データ放送、市公式 SNS、広報車などを使い、市から情報を発信します。



防災行政無線が聞き取りづらいときは

- ☎ 電話で確認**
防災行政無線電話自動応答サービスで、放送内容を電話で確認できます（通話料有料）。
TEL 049・256・8877
- ✉ Fメールで確認**
市政情報などのメール配信サービスで、放送内容を配信します。
- 📱 dボタンで確認**
データ放送で、放送内容を確認できます。各局の視聴中にリモコンのdボタンを押してください。
- ☎ 災害等緊急情報配信サービスで確認**
災害などに関する緊急情報を電話またはファクスで配信します。
対象 市内在住で、防災行政無線が聞き取りにくく、Fメールでの情報入手が難しい人
※詳しくは、市ホームページを確認いただくか、お問い合わせください。

防災行政無線設備の更新工事を行います

市では、防災情報の確実な伝達を図るため、防災行政無線設備の更新工事を実施します。工事期間中は、屋外拡声子局（スピーカー）から試験放送などを行う場合があります。詳しくは、市ホームページをご確認いただくか、お問い合わせください。

工期 10月30日(金)まで

場所 市内全域

●主な工事内容

①放送方法の変更

市職員による肉声で放送していましたが、コンピューターで作成した内容を音声合成して放送するため、機械的な音声による放送となります。なお、工事期間中は、市職員の声による放送と機械的な音声による放送が重複して流れますので、あらかじめご了承ください。

更新前	更新後
職員による肉声放送	音声合成による機械的な音声放送

②高性能スピーカーの導入

一部の屋外拡声子局のスピーカーを高性能スピーカーに更新します。従来型のスピーカーに比べて、遠くまではっきりと音が伝わり、近くでもやさしく聞こえるようになります。

③屋外拡声子局の撤去

高性能スピーカーの導入に伴い、従来よりも広範囲に放送が可能となります。そのため、屋外拡声子局の更新後、市内に設置している一部の屋外拡声子局を撤去します。

※今後、防災ラジオ型戸別受信機を導入し、有償での貸与などを予定しています。配布時期や運用開始時期などは、決まり次第お知らせします。

洪水ハザードマップをご確認ください

洪水ハザードマップ（7カ国語対応）を市ホームページで公開しているほか、市役所の窓口でも配布しています。地域の危険性をあらかじめ把握し、指定避難所の位置や避難経路など、家族同士で意見交換や対策の再確認をしましょう。

また、より直感的に地図情報を確認でき、色覚バリアフリーにも対応したウェブ版ハザードマップ（洪水・地震）も公開していますので、そちらも併せてご利用ください。



ペットの備蓄品の準備も忘れずに！

緊急時の食べ物や飲み物、薬などは、長期の被災に備えて、最低3日分（7日以上が推奨）は用意しておきましょう。

例) 水、食器、療養食、処方薬、リード、首輪や胴輪、フード、ケージやキャリーバッグ、ペットシート、おもちゃ、トイレ砂など

事前の準備で風水害に備えましょう

☎ 危機管理防災課 (TEL 049・262・9017)

新たな防災気象情報

国土交通省水管理・国土保全局と気象庁は、5月29日(金)から新たな防災気象情報の運用を開始しました。河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮に関する情報などは、これまで警戒レベルとの対応が複雑で分かりにくくなっていましたが、今回の改善により、避難情報の5段階の警戒レベルに対応し、避難の判断をしやすくなります。

レベル4やレベル3の情報が発表された場合には、災害の危険度をリアルタイムに表示するキックルや河川の水位情報などの情報を確認して早めの避難を心掛けてください。キックルは気象庁ホームページで公開しています。

防災気象情報（警戒レベル相当情報）				避難情報等（警戒レベル）			
警戒レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害	警戒レベル	状況	避難情報	市民の皆さんがとるべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	警戒レベル5	災害発生または切迫	緊急安全確保（市が発令）	命を守るための最善の行動をとる

⚠ 警戒レベル4までに必ず避難！ ⚠

警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	警戒レベル4	災害のおそれ高い	避難指示（市が発令）	全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	警戒レベル3	災害のおそれあり	高齢者等避難（市が発令）	高齢者・障がい者・乳幼児その支援者は避難
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	警戒レベル2	気象状況悪化	大雨注意報・氾濫注意報（気象庁が発表）	避難に備え、自らの避難行動を確認
警戒レベル1	早期注意情報			警戒レベル1	今後気象状況悪化の恐れあり	早期注意情報（気象庁が発表）	最新の防災・気象情報に注意するなど 災害への心構えを高める

※身の危険を感じたときは警戒レベルに関わらず避難してください。必ずしも段階的に、レベル1から発令されるとは限りません。

●主な変更点

- 気象情報警報や注意報の情報名に「レベル」が付記されます
例) 大雨警報→レベル3大雨警報
- 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります(特別警報の新設など)
例) 洪水警報→レベル3氾濫警報(洪水予報河川)
レベル3大雨警報(洪水予報河川以外の河川)

- 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます
例) 土砂災害警戒情報→レベル4土砂災害危険警報
- ※詳しくは、気象庁ホームページをご確認ください。

避難情報が発令されたら

避難とは自然災害から「命を守るための行動」です。自らの判断で、早い段階からの行動が大切です。

避難情報は、夜間や深夜に発令される場合があります。命や財産を守るため、自らの判断で早い段階から避難行動をしましょう。

今いる場所よりも安全な場所へ向かう
立ち退き避難（早めの行動）
道路が冠水する前

- 安全な場所へ避難（親戚・知人宅など）
- 指定避難所へ避難
- 近所の高い建物などへ避難
- ※高台のスーパーやファミリーレストランなども一時待機場所として有効です。



浸水被害発生

今いる建物内で安全な場所へ移動する
屋内安全確保（即座に行動）
移動が危険な場合

- 屋内の安全な場所で待機
- 2階以上へ移動
- ※屋内が危険な場合は、迷わず消防や警察に救助を要請してください。



浸水の中にやむを得ず避難する場合は…

浮遊物のほか、下水道のマンホールや側溝などへ転落・転倒の恐れがあり危険です。棒などで地面を探りながら歩きましょう。

